変化する人材と、変わらない枠組み
人事がいまアップデートすべき障害者雇用の前提

人事課題×就労支援　竹内一法

Gemini Notebook

この資料で持ち帰ってほしいこと

障害者雇用の現場で起きている変化を整理します。
以下の3つの視点を、自社の採用にお役立てください。

- 働く人々の特性が多様化している事実を知る
- 就労に至るまでの見えない制度の壁を理解する
- 一律のルールではなく柔軟な働き方を検討する

Gemini Notebook

人事が見直すべき3つの前提

本資料では、以下の3つの論点を背骨として解説します。
自社の現状と照らし合わせながら読み進めてください。

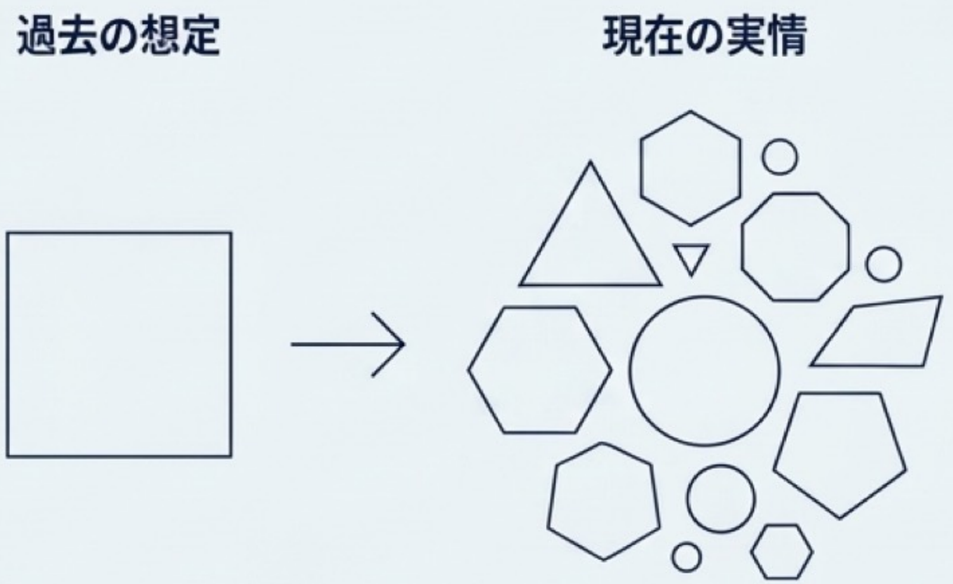


Gemini Notebook

DIVERSITY

働く人々の特性や背景は、かつてなく多様化している。

障害者雇用で働く方々の層は、大きく変化しています。
目に見えやすい特性だけでなく、見えづらい特性など、
多様な背景を持つ方々が就労を希望するようになりました。
従来の想定を大きく超える能力を持つ方も増えています。



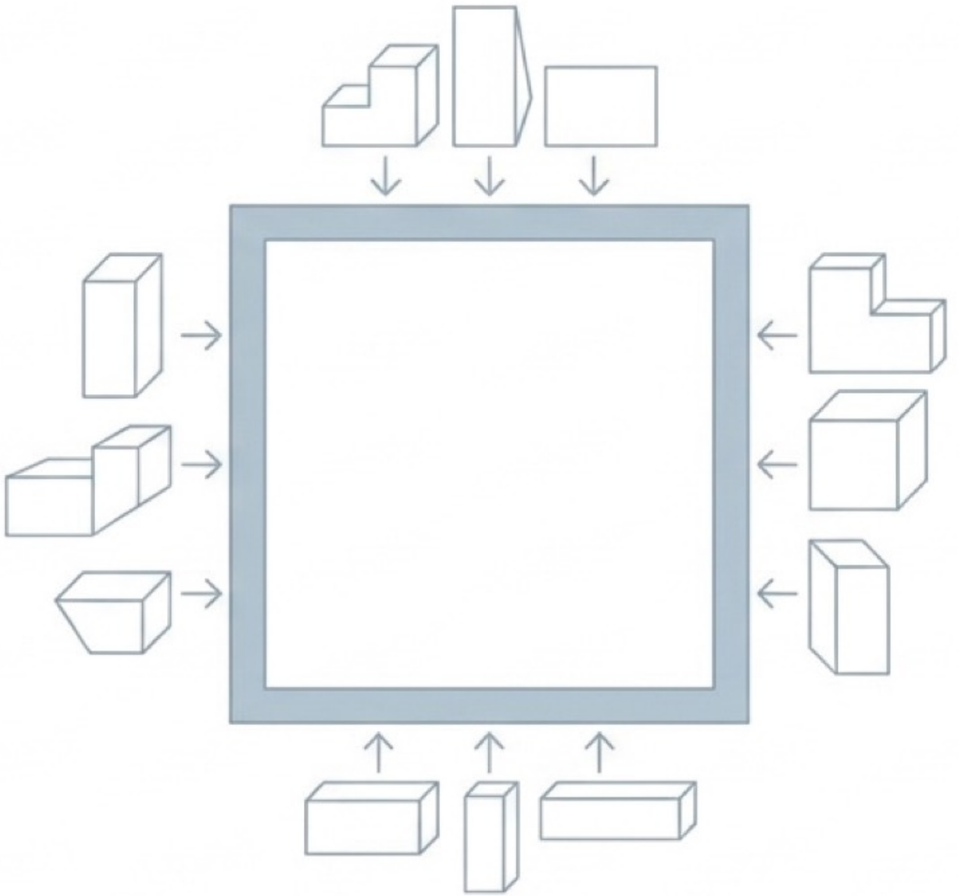
Q. 自社が想定している障害者像は、過去のイメージのまま固定されていませんか。

Gemini Notebook

RULES

企業の受け入れ枠や制度は、過去の想定で止まっている。

国が想定する受け入れの制度は昔から変わっていません。
企業側も決められた業務と時間という固定化された枠で、
多様な人材を受け入れようとする傾向が強く残っています。
能力ある人が、古い制度に合わせざるを得ないのが実情です。



就労移行支援の事業所は全国に約9000箇所（現場の実感として）

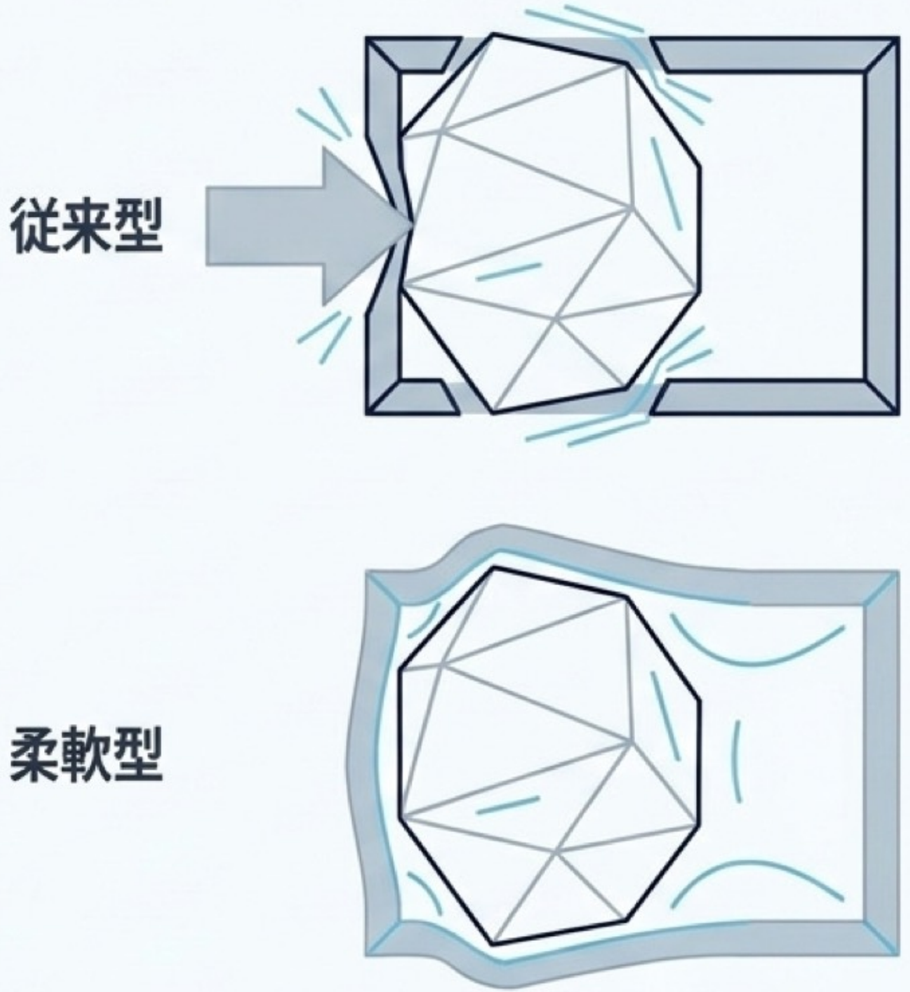
Q. 自社の採用要件は、多様な特性を持つ人々を柔軟に受け入れられる形ですか。

Gemini Notebook

REALITY

変わらない枠に合わせるか、本人の能力を生かすか。

硬直化した枠組みに人を合わせようとすると無理が生じます。
個人の才能や能力を最大限に引き出して生かすためには、
枠の形を変え、人に合わせた支援へ舵を切る必要があります。
ニーズと制度が合っていない事実に向き合う時期です。



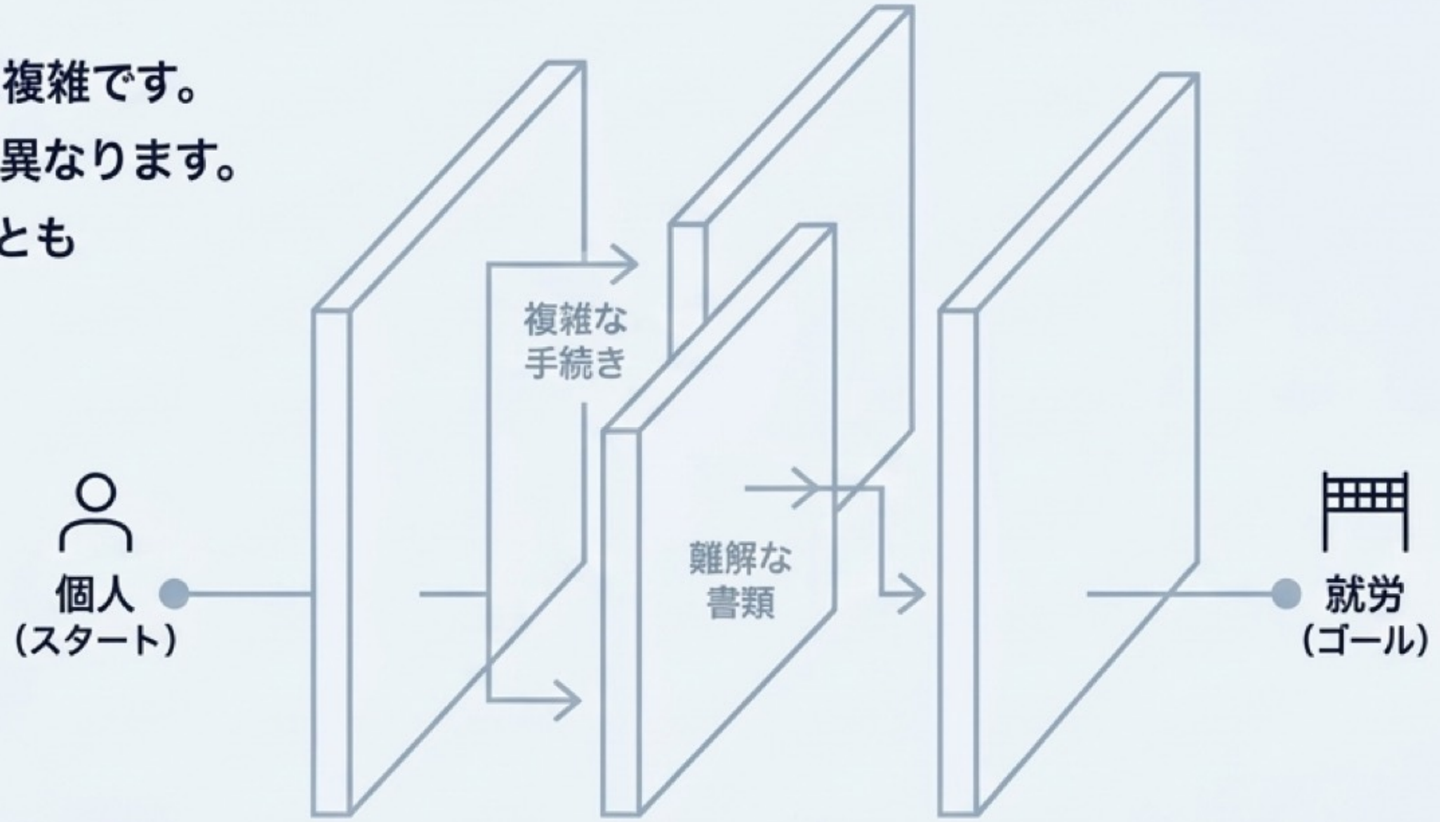
Q. 自社の業務設計には、人に合わせて形を変える余地が残されていますか。

Gemini Notebook

SYSTEM

就労へ向かう前に、複雑な行政手続きが立ちはだかる。

就労支援を受けるための行政手続きは非常に複雑です。
申請先の自治体によってルールや判断基準が異なります。
書類も難解で、窓口をたらい回しにされることも
あります。
支援の専門家でさえ戸惑うほどの壁が
最初から存在します。



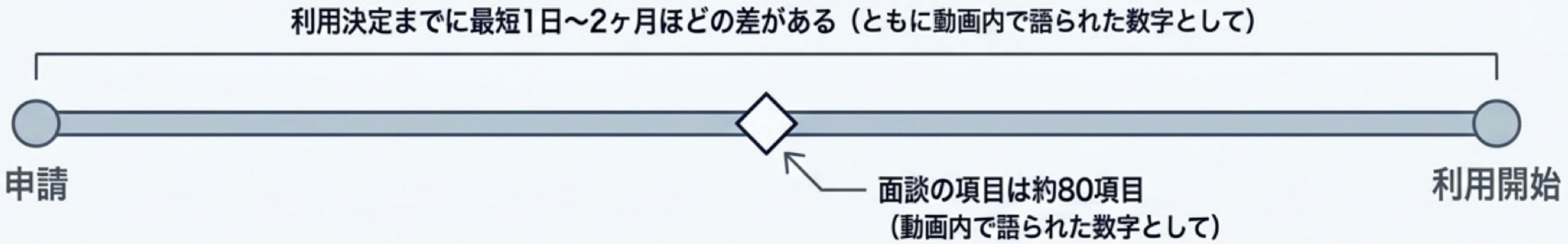
Q. 応募者が自社の面接にたどり着くまでに、どれほどの壁を越えてきたか想像したことはありますか。

Gemini Notebook

BURDEN

手続きの長期化が、本人の働く意欲と体力を奪ってしまう。

窓口へ行っても利用できるかどうかはすぐに判断されません。
長い待機期間ののち、膨大な項目の聞き取りが行われます。
この手続きの過程で疲弊し、離脱してしまう方もいます。
見えない制度の重圧が、本人の大きな負担となっています。



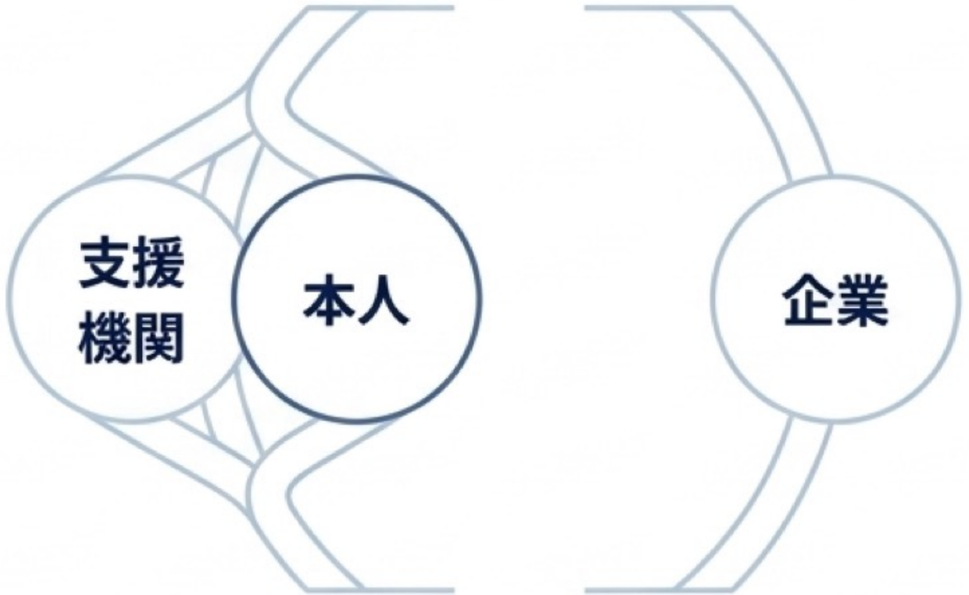
Q. 自社の採用選考プロセスは、応募者の心身の負担を最小限に抑える配慮ができていますか。

Gemini Notebook

UNDERSTANDING

制度の壁を越えてきた見えない苦労を、企業が理解する。

行政手続きの遅れや負担は、本人の努力では解決できません。
入社前に本人が抱えてきた見えない苦労を知ることが大切です。
支援機関が伴走することでこの負担は大きく軽減されます。
企業もまた、背景にある事情を理解する姿勢が求められます。



Q. 面接の場で、本人の経歴の裏にある見えない事情を汲み取る対話ができていますか。

Gemini Notebook

FLEXIBILITY

一律の働き方を押し付けると、本来の力が発揮されない。

決まった時間にどうしても起きられない方がいます。
これを仕事ができないと評価するのは早計です。
生活リズムに合わない時間を強要することが問題の根幹です。
一律の働き方に当てはめるほど活躍の機会は失われます。



Q. 自社の勤務ルールの中に、絶対に変えられないと固く信じ込んでいるものはありませんか。

Gemini Notebook

HIRING

特性を欠点と捉えず、
活躍できる環境を見つけ出す。

時間が合わないのであれば、別の時間帯の業務を探す。

柔軟な発想があれば、働き方はいくらでも見つかります。

活動時間帯を変えるだけで大きな戦力となる事実があります。

型にはめるのではなく、合う環境を用意することが鍵です。



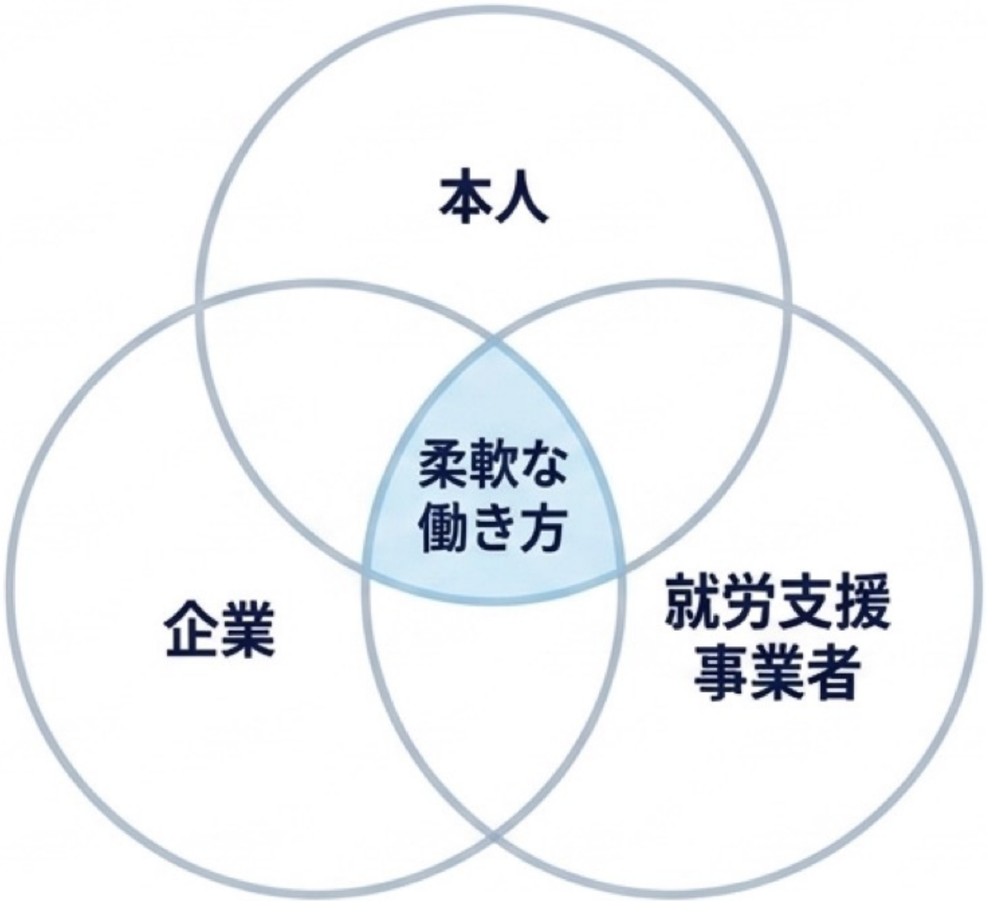
Q. 応募者の特性をできない理由ではなく、活躍できる条件として変換できていますか。

Gemini Notebook

RETENTION

企業と本人が協力し、新しい働き方をつくりあげる。

制度に合わせた働き方から、人に合わせた働き方へ。
そのためには企業側の柔軟な受け入れ姿勢が不可欠です。
本人、就労支援事業者、そして企業の三者が連携することで、
これからの時代に合った新しい雇用の形が生まれます。



Q. 特性を持つ社員が力を発揮できるよう、支援機関と率直に相談できる関係はありますか。

Gemini Notebook

まとめ

1. 働く人々の多様化を認識し、従来の枠組みをアップデートする。
2. 就労に至るまでの見えない壁と苦労を理解し、寄り添う姿勢を持つ。
3. 決められた型を押し付けず、個性が生きる柔軟な働き方を設計する。

枠に人を当てはめるのではなく、人に合わせた環境づくりから始めましょう。

Gemini Notebook